

児童朝会 講話 令和3年12月20日

No 22 「学び合い 4」

おはようございます。

校長先生の声届いていますか？

今日もうれしいおしらせからはじめます。

先週は、絵画・版画展に出品したおともだちに賞状を渡しましたが、今日は読書感想文が上手に書けたお友だちに賞状が届いていますので、伝達したいと思います。

これで3週連続して賞状をお渡ししましたが、2枚ともらっているお友だちはいませんでした。つまり、いろいろなお友だちが、自分の得意なところでもらっているようで、みなさんの一人ひとりの「個性」がだんだんと光輝きはじめているようで、とてもうれしく思います。

さて、この間から、空気に重さはあるのかといふお話しをしていますが、みなさんはどう思いますか？ちなみに、校長室前の意見シールではやはり半々です。

さて、今日はこんな実験をしてみます。

ここに小さな紙を準備しました。これを2つに曲げてここにたてます。

そして校長先生が祈りをこめて指をふると…



パタリと紙が倒れます。

少々遠くても…

やはり倒れます。

なぜ紙が倒れるのでしょうか？

まわりの人と聞き合ってみてください。

風の力で倒れたという意見が多いですね。では、風が通らないようにここにコップをおいてやってみます。

すると、やっぱり倒れます。

なぜでしょう。

校長先生の超能力でしょうか？

みなさんも、ぜひやってみてください。

コツは、小さな紙がいいですよ。そしてあまりに角度をつけすぎますと倒れなくなります。

引き続き意見シールを準備しておきますので、空気に重さがあるというひと、重さはないといひと、意見があるひとは、校長室前のボードにシールをはったり、意見を書き込んでくださいね。

これで、校長先生のお話しを終わります。さいごまで、静かに聞いていただきありがとうございました。

